

行政データ等の利活用について

令和3年10月29日
富山県

1 現状

2 参考事例

3 検討の視点

1 現状①

■ オープンデータの推進

- ・ 県オープンデータポータルサイトの開設（H29年10月）
- ・ 全ての県内市町村でのオープンデータの取組開始（R元年7月）

■ オープンデータを活用するための公民連携の推進

- ・ 有志のエンジニアが行うシビックテック活動等との連携
（県公認「新型コロナウイルス感染症対策サイト」へのデータ提供など）
- ・ 富山県オープンデータミーティング・富山型官民データラウンドテーブルの開催
（県が保有するデータの公開を通じた公民連携による地域社会の共創の場として、
全ての参加者がフラットな立場で意見を交換）

1 現状②

オープンデータを活用し、新型コロナに関する最新情報をわかりやすく提供する
「富山県公認新型コロナウイルス感染症対策サイト」



新型コロナウイルス感染症
対策サイト

多言語対応選択メニュー

Lang: 日本語

県内の最新感染動向

新型コロナウイルス
感染症が心配なとき
に

ご家庭でのマスク等
の捨て方

富山県 新型コロナウイルス
感染症 支援情報ナビ

当サイトについて

ご意見フォーム（外部サ
ービスを使用していま
す）

お問い合わせ先一覧

検査陽性者の状況

陽性者数 (累計)	4,834 人
入院	23 人
軽症・中等症（無症状を含む）	22 人
重症	1 人
宿泊療養	6 人
自宅療養（入院等調整中を含む）	11 人
死亡	51 人
退院等（療養期間経過を含む）	4,743 人

(注)

- 「重症」には、集中治療室(ICU)等での管理又は人工呼吸器管理が必要な患者を計上
- 把握には一定の期間を要しており、確認次第数値を更新している

2021年10月11日 16:29 更新

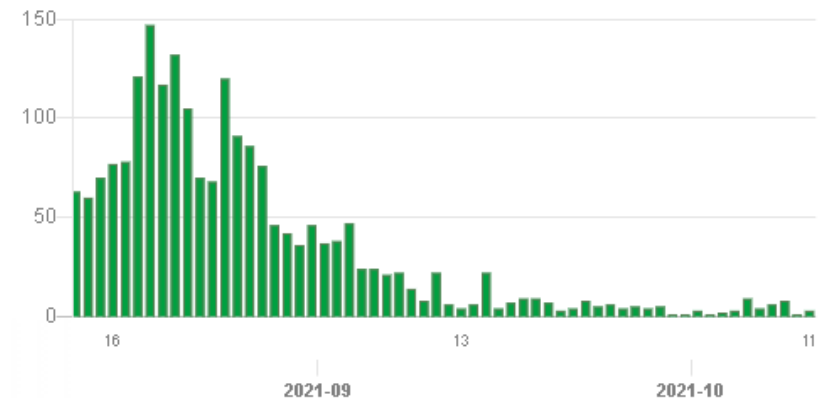


公表日別による陽性者数 の推移

3 人

2021年10月11日 日別値（前日比: +2 人）

日別 累計



(注)

- 感染者の発生が公表された日を基準とする

> テーブルを表示

2021年10月11日 16:29 更新



1 現状③

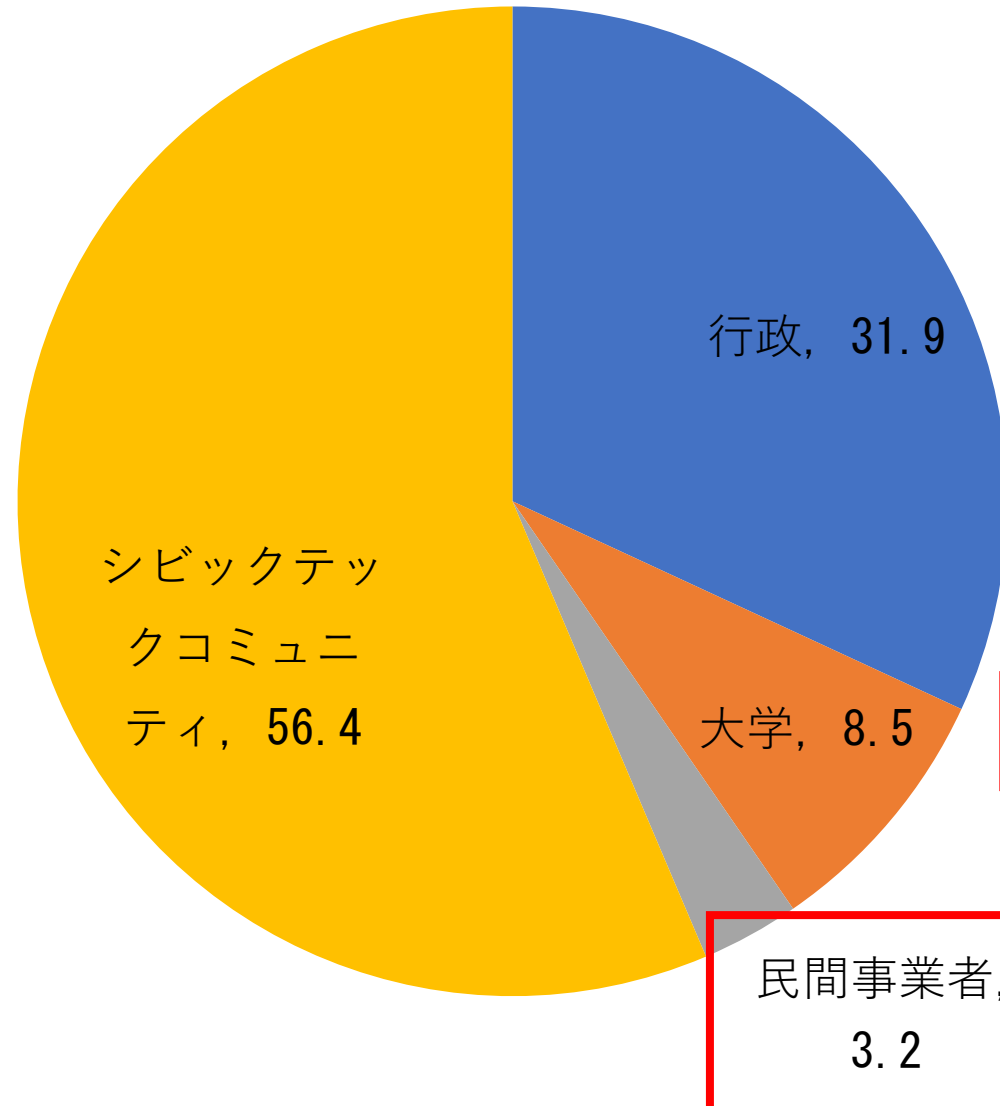
富山県オープンデータミーティング・富山型官民ラウンドテーブルの開催

- オープンデータの推進に向けた意見交換の場
- 自治体職員や大学、民間事業者、シビックテックコミュニティ等が参加
- データの公開を通じた**公民連携による地域社会の共創の場**として、全ての参加者が**フラットな立場**で意見を交換
- とやま**ロケーションシステム(※)**の**開発**に貢献

※バスの位置情報等がわかるサイト

1 現状④

富山県オープンデータミーティング・富山型官民ラウンドテーブルの参加状況



「民間事業者」の参加が少ない

民間事業者,
3.2

2 参考事例①

京都ビッグデータ活用プラットフォームの概要

人が主役のスマートで安寧な社会の創出



会員企業・団体数
107

うち民間企業54社
(50.5%)

2 参考事例②

京都ビッグデータ活用プラットフォームの提供サービス

入会後は以下の6つのサービスをご提供します。

① 京都ビックデータ活用プラットフォーム会議への参加



産学公の多様なプレーヤーが集う京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議を開催し、スマートシティやIoT、ビックデータに関する最新の情報をご提供します。各WGの取組のアップデートや新たな取組を共有します（年4回実施予定）

② 課題別ワーキンググループへの参加



多様化する社会課題や企業のニーズに応じて、ワーキンググループを発足します。ワーキンググループごとに勉強会等を実施し、具体的な成果に繋がります（ex.スマートアグリWG、スマートモビリティWG、スマート観光WG等）

③ ビジネスマッチング支援



会員企業様の新規事業紹介・交流の場をご提供します。10月開催の京都スマートシティエキスポにて、京都ビッグデータ活用プラットフォームオープンパートナープログラムを開催し、個別WGの成果発表を行い、ビジネスマッチングを支援します

④ デジタルサイネージ等を活用した実証実験支援



京都スマートシティ推進協議会が府域等に設置した10台のデジタルサイネージやスマートライト、LPWA等の公園スマート機器を活用した実証実験を支援します。その他、会員様が新たに実施したい実証実験の実現をお手伝いします

⑤ 補助金等獲得支援



会員企業様や各WGが実施するプロジェクトに対し、国や京都府等の補助金の獲得に向け、助言や担当部署の紹介、実証フィールドの提案等の申請サポートをします（※補助金獲得を約束するものではなく、あくまで審査は公平に行われます）

⑥ データ統合基盤の利用



京都スマートシティ推進協議会が所有するデータ統合基盤をご利用できます。会員企業間のデータ連携の支援やデータ利用環境（アカウント発行・管理）を提供します。データ分析するためのBIツールを別途有料でご提供します

2 参考事例③

京都ビッグデータ活用プラットフォーム ～支援スキーム～



3 検討の視点

- 行政データ等の利活用は、多様な主体がオープンデータ化されたデータを利活用して、県民の利便性向上や地域課題解決、新産業創出を実現することが望ましい。
- この点を踏まえた現状と課題は次のとおりである。

<現状>

- ① 「富山型官民データラウンドテーブル」などシビックテックとの協働・共創により、オープンデータの利活用を推進している。
- ② シビックテックによる県民の利便性向上や地域課題解決の事例はあるが、オープンデータを活用してビジネス化に至った事例は少ない。（全国には、データ利活用を新産業創出につなげる枠組みが存在している。）



<課題>

- ① ラウンドテーブルへの民間事業者の参加が少ない。
- ② データのビジネス利活用ニーズを把握しておらず、データ利活用を新産業創出につなげる枠組みがない。



<検討の視点>

- ① ラウンドテーブルへの民間事業者の参加を促進すべきではないか。
- ② ビジネス利活用に向けた民間ニーズの汲み上げに取り組むとともに、データ利活用を新産業創出につなげる枠組みが必要ではないか。